

## 宮代町手話言語条例

手話は、手指や体の動き、表情を使って視覚的に表現する言語です。手話を必要とする人は、物事を考え、コミュニケーションを図り、お互いの気持ちを理解し合うために、また、知識を蓄え、文化を創造するために必要な言語として、手話を大切に育んできました。

しかしながら、これまで手話が言語として認められてこなかったことや、手話を使用することができる環境が十分に整えられてこなかったことなどから、手話を必要とする人は、必要な情報を得ることやコミュニケーションをとることが容易にできず、多くの不便や不安を感じながら生活をしてきました。

こうした中で、障害者の権利に関する条約や障害者基本法において、手話は言語として明記されました。

これを受け、宮代町は、手話が言語であるということを全ての町民が理解し、手話を使って安心して暮らすことができる環境を整え、ともに支え合う地域社会を実現することを目指すため、この条例を制定します。

### (目的)

第1条 この条例は、手話が言語であるとの認識に基づき、手話への理解の促進及び手話の普及に関し基本理念を定め、町の責務並びに町民及び事業者の役割を明らかにするとともに、手話に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、ともに支え合う地域社会を実現することを目的とします。

### (定義)

第2条 この条例において「手話を必要とする人」とは、聴覚障がいや様々な障がいにより手話を重要な意思疎通の手段として日常生活を送る者をいいます。

### (基本理念)

第3条 手話への理解の促進及び手話の普及は、手話が言語であるとの認識の下に実施するものとし、町民が手話により意思疎通を行う権利を有することを尊重することを基本とします。

### (町の責務)

第4条 町は、前条に規定する基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、手話への理解の促進及び手話の普及に努め、手話を必要とする人が手話を使いやすい環境を整備するため、必要な施策を推進するものとし、

### (町民の役割)

第5条 町民は、基本理念に対する理解を深めるとともに、町の施策に協力するよう努めるものとし、

### (事業者の役割)

第6条 事業者は、基本理念に対する理解を深めるとともに、手話を必要とする人が利用しやすいサービスの提供及び働きやすい環境の整備に努めるものとし、

### (施策の推進方針)

第7条 町は、次に掲げる施策を総合的かつ計画的に推進するための方針(以下「推進方針」という。)を策定するものとします。

- (1) 手話への理解の促進及び手話の普及に関する施策
- (2) 手話による情報の取得及び手話を使いやすい環境の整備に関する施策
- (3) 手話による意思疎通の支援に関する施策
- (4) その他町長が必要と認める施策

2 町は、町の施策や別に定める障がい者に関する計画との調和を保ちながら前項の推進方針を策定するものとします。

3 町は、推進方針の策定及び見直し並びに施策の実施状況の点検のため、手話を必要とする人その他関係者との協議の場を設けるものとします。

(財政措置)

第8条 町は、手話に関する施策を積極的に推進するために必要な財政上の措置を講ずるよう努めるものとします。

附 則

この条例は、公布の日から施行します。